

会 議 録

1 会議名	平成24年度第2回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成24年5月28日(月) 午後2時00分～午後4時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター大会議室
4 出席者	<p>【委員】</p> <p>太田正, 東原勸, 江連脩身, 神山光男, 川津昭夫, 北見和弘, 田口利男, 手塚道子, 星優美子, 谷田部喜美江, 君島恭子, 櫻井清一, 高橋みどり, 藤井直和</p> <p>【事務局】</p> <p>地域自治制度担当副参事, 上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 自治振興課職員, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公 開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】なし</p> <p>【記者】なし</p>
7 会議経過	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p> (1) 報告事項</p> <p> (2) 協議事項</p> <p> ア 合併市町村基本形計画の執行状況について</p> <p> イ 地域のまちづくりに関する施策の提案について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>

1 開 会
平成24年度第2回宇都宮市上河内自治会議開催
2 あいさつ
太田会長よりあいさつ

3 議 事	
(1) 報告事項	
会 長	<p>次第3の議事に入らせていただく。 まず(1)の報告事項について、事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>前回の第1回宇都宮市上河内自治会議で質問があった事項について、回答させていただきます。</p> <p>1つ目に「児童の健全育成環境の整備について、現在、東小の留守家庭児童会については体育館内で行っており、昨年度の答申でも子どもの家への移行をお願いしているが、いったい何年度に子どもの家に移行できるのか」という質問であったが、東小留守家庭児童会は、現在、過渡的に体育館ミーティングルームを間借りしている状況であることから、計画期間内に着手できるよう努力していく考えである。</p> <p>2つ目に「自治会議が10年という期間しかない中で6年目を迎え、そろそろ各事業ができるのかできないのかをはっきりしていただきたい」という質問であったが、基本的には計画期間である10年以内に整備、もしくは着手するものとして、各担当課も十分認識しており、市としても努力しているところである。</p> <p>3つ目に「合併市町村基本計画の13事業はハード事業が多く、財源的裏付として、合併支援交付金等で補われていたと思うが、進んでいない事業などについては、他の事業と一緒にになって一体化して推進するなどの活用方法があるのではないか」という質問であったが、合併支援交付金は、市町村合併に伴う財政負担を軽減するとともに、合併後の行政の円滑な推進及び合併による新たなまちづくりを支援するため、合併市町村に対して交付するものである。なお、交付期間は合併後5年間であり、合併後の宇都宮市が実施する円滑な移行に資する事業及び合併市町村基本計画に基づき実施する事業などに活用された。</p> <p>また、平成19年度から平成23年度まで5年間、上河内地域における合併市町村基本計画の主要事業の予算決算額については、合併支援交付金を含め、13事業合わせて約35億円となっている。</p> <p>以上で説明を終了する。</p>
会 長	事務局からの説明に対して、意見を求める。
全委員	意見・質問なし。

会 長	それでは、ただいまの説明でご理解いただいたということで、次に進めさせていただきます。
(2) 協議事項	ア 合併市町村基本計画の執行状況について
会 長	次に(2)協議事項のア 合併市町村基本計画の執行状況について、事務局から説明願う。
事務局	<p>今回は平成24年度の諮問対象事業に対する答申意見について、ご協議願いたい。</p> <p>また、資料については、昨年の答申書をベースにして、進捗状況の部分を前回の会議で説明させていただいた平成23年度までの進捗状況と平成24年度の予定に置き換えたものである。</p> <p>なお、前年度に答申した意見は残してあるので、進捗状況と前年度の意見を基に、事業毎にご協議願いたい。</p>
会 長	<p>終了した事業を除く10事業について、協議していくということであるが、この間いろいろと議論してきた経緯や、先ほどの報告事項の内容などを含めて、事業毎に意見をいただきたい。</p> <p>なお、意見がない場合は、前年度の意見を継承するかたちで、平成24年度の意見とさせていただきます。</p> <p>①道路新設改良事業についての意見を求める。</p> <p>なお、道路新設改良事業については、昨年度、「路線を変更してはいかがか」という意見もあったが、前回の会議で事務局から、「計画路線を変更することは難しい」との説明があったと思う。そうしたことを理解したうえで意見をいただきたい。</p>
全委員	意見なし。
会 長	次に②上水道事業統合整備についての意見を求める。
全委員	意見なし。
会 長	次に③公共下水道整備事業についての意見を求める。
委 員	平成24年度までに71%の整備を予定となっているが、いつになったら100%になるのか。田んぼの水にも汚水が混じっている可能性があるため、下水処理はまとめて行わないと大きな問題になると思う。
事務局	先ほどの報告事項で述べたとおり、合併市町村基本計画の事業は10年以内に着手または整備していく事業であることは担当課も認識している。しかし、100%整備が完了する時期については、断言できない。
会 長	農業への影響とか環境保全ということであるが、人口が密集していないような場所については、公共下水道の対象区域からは外れているところもあり、合併処理浄化槽で対応している区域もあると思う。

委員	<p>合併処理浄化槽をメンテナンスするには、高い費用が掛かるためメンテナンスを怠ってしまう実情がある。そうしたことで農業用水に入ってしまう恐れがあるということが問題なのである。そうしたことに対して規制がないのがおかしいと思う。</p>
委員	<p>上河内地区の場合、合併処理浄化槽で処理した水については、田んぼに入る水路には流れないように管理させている。</p> <p>また、市では合併処理浄化槽の補助認定区域を定めているが、合併処理浄化槽を入れるかどうかは本人次第である。なお、下水道を整備した区域は、下水道に繋がないと早く下水を繋ぐように言われる。こうした公共下水道と合併処理浄化槽の推進体制に違いがあるため、合併処理浄化槽の補助対象区域についても同様に推進していただきたい。</p>
委員	<p>平成22年度までの進捗率は64.5%ということで非常に評価できる。しかし、第1回の自治会議では平成23年度の見込みは71.8%という報告であったところ、正式には68.9%ということで非常にがっかりした。平成24年度までの予定を足しても、平成23年度見込んだ数値には届かない。残っている10事業の中で、この事業くらいは早めに100%整備を完了させ、合併処理浄化槽に頼らない上河内の豊かな自然と水を守っていくための新たな公共下水道整備計画に取組んでいく必要がある。</p>
委員	<p>合併処理浄化槽と公共下水道は対立するようなものではない。最近では合併処理浄化槽の性能が良くなっていることもあり、両者が利点を活かしてやっていけば良いと思う。</p>
会長	<p>公共下水道・合併処理浄化槽・農業集落排水などいろいろあるが、それぞれの利点を適切に組み合わせて全体としての環境保全に繋げていく事業であると思うので、今回出された意見を少し持ち帰らせていただき整理したうえで次回お示しする。</p> <p>その他に意見はないか。</p>
全委員	意見なし。
会長	次に④児童の健全育成環境の整備についての意見を求める。
委員	<p>平成23年度の答申に「空き教室や新たな建物に移行することも必要です」とあるが、各学校における地域の実情はまちまちであるため、学校とも具体的な話し合いの場を持って進めていく必要があると思う。</p> <p>また、「保護者からの意見を聞くことも必要です」とあるが、PTAや教職員との話し合いが必要であると思う。</p>
会長	今の意見を踏まえ、改めて次回の会議で平成24年度の意見としてお示しする。

	その他に意見はないか。
全委員	意見なし。
会 長	次に⑤中学校校舎整備事業についての意見を求める。
全委員	意見なし。
会 長	次に⑥中学校体育館整備事業についての意見を求める。
全委員	意見なし。
会 長	次に⑦生涯学習センター整備事業についての意見を求める。 なお、生涯学習センターの整備については、一定の方向付けがされたわけであるが、そうしたことを含めて意見をいただければと思う。
全委員	意見なし。
会 長	次に⑧農産物直売所等整備事業についての意見を求める。 なお、⑧農産物直売所等整備事業と⑩地域交流館整備事業については、平成22年度に策定した提案書の内容で、農を活かした産業・経済に直接触れている。そういう意味では合併市町村基本計画に掲げられた13事業を与えられたものとして捉えるだけでなく、提案書の中に取り込んで、その視点からもう一度光を当て直すといった、積極的に捉え直した意見内容を検討しても良いと思う。
全委員	意見なし。
会 長	次に⑨農道整備事業についての意見を求める。
全委員	意見なし。
会 長	最後に⑩地域交流館整備事業についての意見を求める。 地域交流館は、地域の交流拠点であるとともに地域外とも交流していく重要な施設である。 また、温泉を活かした農作物の栽培・販売といった農業との関連もあることから、今後の経済的な地域活性化の核となる施設であると思う。 そうしたことから、地域の側からいろいろと意見を出していただき、提案とセットにして考えていただくことが必要であると思う。それらを含め、平成24年度の意見については、前年度の意見を膨らませる意見があれば良いと思う。
委 員	答申の意見とは直接関係ないが、平成24年度の整備予定に公共下水道を接続ということが記載されている。実際に公共下水道に繋いだ場合、一年間の売り上げ利益の多くを公共下水道料金として支払うことになる恐れがある。市の施設としていつまでも合併処理浄化槽にしておく考え方はないということであるが、指定管理者と市の関係として、下水道料金を市が支払うという考えであるならば、指定管理者も運営しやすくなる。あくま

	で自治会議でどうするという話ではないが、そうした悩みがあるということとは話しておきたい。
事務局	污水管が近くまで整備されることになれば、速やかに接続しなければならないということが下水道法で決まっている。合併処理浄化槽と公共下水道の料金の比較までは詳しく分からないが、そうした法律で決まっていることだけのご理解いただきたい。
会 長	その他に意見はないか。
全委員	意見なし。
会 長	それでは、諮問対象事業の協議については、ここまでとさせていただきます。なお、本日の意見を踏まえ、次回、答申書（案）をお示しさせていただきます。
(2) 協議事項	イ 地域のまちづくりに関する施策の提案について
会 長	次に(2)協議事項のイ 地域のまちづくりに関する施策の提案について、事務局から説明願う。
事務局	<p>今回は、各方策に関わる目標について、テーマ別にグループに別れご協議願いたい。</p> <p>協議方法については、付箋を用いたブレインストーミングで進めていただき、最後にグループリーダーから発表をお願いする。</p> <p>目標設定の考え方については、各方策に関わるいろいろな取組みを考えたい。例えば、その取組みを行うことで、最終的に「何がどのようになっているのが望ましいのか」を考え、それらを目標として設定していただきたい。</p> <p>また、協議に入る前に、前回決定した方策について、少し文言調整をさせていただきますので、事務局（案）として提案させていただきます。</p> <p>なお、文言調整については、取組みレベルの表現について、「～の推進」といった方策レベルの表現に置き換え、全体的なバランス調整を行っている。</p> <p>以上で説明を終了する。</p>
会 長	まず、修正点についてであるが、趣旨は変えず、文言の表現や方策を比較的大括りにしたということである。例えば、修正した方策の中に修正前の表現が取組みとして入るといったものであり、大部分を分かりやすく整理したということである。修正点について何か意見はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	それでは、確認いただいたということで、早速、グループ協議に入らせていただきます。

グループ協議を実施	
会 長	<p>それでは、グループ協議の結果を発表していただく。 今回は、健康・福祉グループから発表をお願いします。</p>
委 員	<p>健康・福祉グループの結果を発表させていただきます。</p> <p>①高齢者を活用したボランティア活動の充実については、団塊の世代の方が定年退職し、家の中に閉じこもってしまうということもあり、そうした方をボランティア人材として発掘することが必要である。また、現在あるボランティア活動の実態などを調べ、活用することも必要である。</p> <p>②温泉施設等を利用した健康づくりの推進については、梵天の湯では健康づくりに関する事業がいろいろと行われているが、まだまだPRが足りない。また、梵天の湯のとなりには保健センターがあり、保健センターとともにPRしていければ、保健センターで体を動かした後、温泉で一休みするなどの連携ができる。</p> <p>③高齢者の外出支援の充実については、現在、上河内地区では、デマンドタクシーを走らせるために、各自治会を回ってデマンドタクシーに関する理解を深めていくということで進めている。そうしたデマンドタクシーを活用して、高齢者の方が家から出られる足を確保することが必要である。また、高齢者の方に興味を示していただけるような施設や講座などのPRも必要である。なお、居場所づくりという意見もあり、近所の空き家などを利用した高齢者が集まる場所やサロンなど、高齢者が楽しめる場所をつくることも必要である。</p> <p>④地元の新鮮な食材を活かした食育の推進については、近年、農家の方が自分の家で野菜をつくるのが少なくなってきた。また、地域には何箇所か直売所があるが、そうした直売所についても地元に対するPRも足りない。そうしたことから、地元の農家の方が多く野菜をつくり、どんどん野菜などを直売所に提供してもらう必要がある。なお、地元食材を活用したメニューの開発などに繋げるという意見も出された。</p> <p>⑤世代間交流を通じた生きがいがづくりの推進については、3世代交流大会というイベントを通じて、3世代が集う場所をつくる必要がある。また、3世代が交流できるスポーツイベントなどができれば、更に良いのではないかと考えている。</p> <p>以上が健康・福祉グループで検討した内容である。</p>
会 長	<p>さまざまな取組みのアイデアを紹介いただいたが、これらの内容について何か意見はないか。</p>

全委員	意見・質問なし。
会 長	非常にイメージが浮かんでくるような取組みであるが、取組みを通じて目標をどう設定するかということは議論しなかったのか。
委 員	今回は目標を設定するところまで到達しなかった。次回には目標を設定できると考えている。
会 長	それでは、次に子育て・教育グループの発表をお願いする。
委 員	<p>子育て・教育グループの結果を発表させていただく。</p> <p>①地域主催行事への積極的参加の推進については、子ども会育成会活動を活発にし、地域行事への参加を促進する必要がある。ここでは、「少なくとも地域で5割くらいの参加」という目標を掲げた。</p> <p>②各種技能者による次世代を担う人材の育成については、特殊技能を持った方にその技術を教えてもらうには、まず、技能者を発掘し把握をすることが大切であり、技能者一覧表のようなものをつくり、人材育成に繋げる必要がある。ここでは、「伝統文化行事の継承者及び次世代の地域のリーダーを輩出」という目標を掲げた。</p> <p>③スポーツを通じた子どもたちの絆づくりの推進については、町内のスポーツ大会に小中学生の参加できる内容を設けることや出前スポーツ教室の開催などにより、子どもがスポーツに携わる機会を多くつくってあげることが必要である。ここでは、「大人と子どものふれ合い度を充実させるとともに小学生のスポーツ人口を増やす」という目標を掲げた。</p> <p>④地域の連携による地域交流活動の充実については、地域の清掃行事に子どもが参加できるようにすることや季節に応じた行事を行うことで、地域交流活動を充実させる必要がある。ここでは、「地域愛を高め、働く喜びを持たせる」という目標を掲げた。</p> <p>⑤地域における子育て支援の充実については、子どもの居場所の確保や乳幼児支援施設を充実させることで、子育て支援を充実させる必要がある。ここでは、「子育てに対する不安を無くす」という目標を掲げた。</p> <p>以上が子育て・教育グループで検討した内容である。</p>
会 長	具体的な目標も設定していただいたが、これらの内容について何か意見はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	①の方策に対する目標は、「5割程度の参加」という具体的な目標を掲げていただいたが、その他については、何を指すのかという全体としてのイメージを表現していただいている。たとえば「伝統文化行事の継承者を輩出」という目標を掲げていたと思うが、何人輩出を目指すのかについて

	は、今後の検討の中で出てくる可能性はあるのか。
委員	伝統行事もいろいろと内容が豊富であり、いろんな方が地域にはいると思うので、ここでは特定して何人という目標にはしていない。
会長	最後に、環境・景観・防災・上下水グループの発表をお願いします。
委員	<p>①豊かな水を活かしたまちづくりの推進については、地域交流館や自治センターなどに自由に水の飲める水道栓を設置するなどの取組みが必要である。</p> <p>②地域ぐるみの環境保全活動の推進については、年に何回か地域全体で清掃活動が行われているが、もう少し親と子どもと一緒に参加する必要がある。また、自治会単位で公園の草刈を行ったりはしているが、こうした取組みを定着化させることも必要である。なお、交通の妨げにならない程度に左右の道路に草花を植えるという意見もあった。</p> <p>③耕作・山林放棄地の有効活用の推進については、国レベルの大きな問題でもあると思うが、上河内地区にどれだけの耕作山林放棄地があるのかを調査を行い、マップを作成する必要がある。また、栃木県では森林税を皆さん払っているが、森林税を活用した里山の整備ということに、地域としても市としても感心を持つべきである。なお、耕作されていない田んぼへの水張りという意見もあり、田んぼを使わないからといって草を生やした状態にしておくのではなく、せめて水張りだけでもしておくことで、後で耕作がしやすくなったりする。</p> <p>④自然を活かした景観活用交流の充実については、自然を活かした景観を上河内全体で考えているとなかなか実践化できない。どの場所でやるのかを重点化する必要がある。例えば、鬼怒川堤防へのサイクリングロードの整備や北西部山間のハイキングコースの整備などが意見として出された。</p> <p>⑤災害に強い地域づくりの推進については、上河内地区には防災無線があるが聞こえづらいので、もう少し聞こえやすくないのかという意見があった。また、ハザードマップの見直しを行い、防災対策の充実を図ることや集落単位で防災意識対策を向上させることも必要である。</p> <p>なお、環境・景観・防災・上下水グループについては、目標を設定するところまでには至らなかった。</p> <p>以上が環境・景観・防災・上下水グループで検討した内容である。</p>
会長	非常に具体的な内容で、いずれも今すぐに何を行うべきかということがはっきりしているという印象を受けた。特に耕作放棄地については、実際に調査を行い、マップを作成して状況を把握するといった具体的な取組み

	<p>の段取りを示していただいている。</p> <p>だだいまの発表について、何か意見はないか。</p>
全委員	意見・質問なし。
会 長	<p>全グループを通して、目標の設定ということではあと一歩であったと思う。しかしながら、それぞれの取組み内容というのは、非常に具体性があり、目標さえ設定できれば、目標の実現に向けて何をどう取組むのかについては、意外と明確かつスピーディーにまとめていけるのではないかという印象を受けた。今後はそうした実行プラン作成との関連も念頭に置いていただきながら、目標の設定というところを絞り込んでいただき、進めていただければと思っている。</p> <p>それでは、議事はここまでとさせていただきます。</p>
4 その他	
会 長	次に次第4の「その他」について、意見を求める。
事務局	次回の平成24年度第3回宇都宮市上河内自治会議は、6月25日の午後2時からを予定している。
会 長	他になければ本日の議題は終了させていただく。
全委員	意見・質問なし。
5 閉会	
会 長	以上で、平成24年度第2回宇都宮市上河内自治会議を終了する。